

## 気管支喘息について No6



### 吸入ステロイド薬

現段階では喘息の慢性炎症に対してもっとも優れているとされており、長期管理治療のベース薬として強く推奨されています。吸入ステロイド単剤の薬としては、以下の7種類が発売されています。また15未満の小児喘息の治療は単剤からのスタートが原則です

#### ① ドライパウダー式

粉末状の薬を専用の吸入器で吸うタイプ

**特徴:**薬価が安い

吸入のタイミングをとりやすい

**薬剤名:**フルタイドディスカス

アズマネックス

パルミコート

アニュイティ

#### ② エアロゾル

スプレー式で薬が噴射されるタイプ

**特徴:**吸入力が無くても楽に吸える

粉っぽさがない

**薬剤名:**フルタイドエアゾール

キューバル

オルベスコ

#### ③ 吸入液

重篤な持病や認知症のある方、小さな子供に使用

**特徴:**ネプライザーという特殊な専用機器を使い、マスクの中で霧状になった薬をゆっくり自然な呼吸で吸い込むことができる

**薬剤名:**パルミコート吸入液

#### <メリット>

β刺激薬の副作用が無い

合剤より薬価が安くなる

#### <デメリット>

ステロイドの量が合剤より高くなる  
中程度以上の人には向かない

## 話題の新薬 ネイリンカ<sup>®</sup>セル

### 経口抗真菌剤

佐藤製薬は、経口抗真菌剤「ネイリンカ<sup>®</sup>セル 100mg」を発売した。本邦において約20年ぶりに承認された爪白癬に適応を持つ経口抗真菌剤である。本剤は、水溶性および生物学的利用率を向上させたプロドラッグであり、投与後速やかに活性本体であるラブコナゾールに代謝される。爪白癬に対する新たな治療選択肢として期待されている。なお、他のアゾール系薬剤と同様に、CYP3Aにより代謝される薬剤の作用増強や、ワルファリン作用増強によるPT-INR上昇の可能性があるため、併用薬との相互作用に注意が必要である。通常、成人には食事の有無に関係なく1日1回1カプセル(ラブコナゾールとして100mg)を12週間経口投与する。

薬価 100mg 1Cap=804.6円

## 副作用情報 スーテント<sup>®</sup>カ<sup>®</sup>セル

ファイザーから販売されている腫瘍用薬の「スーテント<sup>®</sup>カ<sup>®</sup>セル 12.5mg」は、直近3年の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「急性胆嚢炎関連症例」が5例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「急性胆嚢炎」が追記された。

## オメガ3脂肪酸 不安を軽減

サンマやイワシなどの青魚に多く含まれるオメガ3脂肪酸をとると、患者の不安を和らげる効果があると国立癌研究センターのチームが発表した。チームは、サプリなどでオメガ3脂肪酸をとった人ととらなかった人を比べた、日本を含む11カ国の19研究、計2240人分のデータを分析。うつ病や心的外傷後ストレス障害、心筋梗塞など様々な患者を含んでいる。その結果、オメガ3脂肪酸を1日2グラム以上とった人はとらなかった人に比べて、不安症状が和らいでいた。オメガ3脂肪酸は、必須脂肪酸の一つで、青魚に多いDHAやEPAなど。2グラムはサンマ1.5匹ほどに相当する。

